

園名	あそか保育園
日時	令和6年11月28日

### 1, 活動テーマ

<テーマ>

5歳児・・・園庭で音を探そう

<テーマ設定理由>

・楽器などではなくても園庭で普段遊んでいるものや場所で、いろいろな音を感じられると思ったので設定した。

### 2, 活動スケジュール

- ・ラップの芯を渡し、これで遊ぶことを伝える。
- ・自分で見つけた音や感じたことを伝え合い、共有して楽しむ。

### 3, 活動のために準備した素材や道具、環境設定

- ・ラップの芯
- ・砂場遊具（シャベル、バケツ、おぼんなど普段から出ているもの）
- ・段ボール（園庭で普段遊んでいるもの）

### 4, 探究活動の実践

<活動内容>

- ・ラップの芯を蓋つきの箱に入れて振り、何が入っているか考える。
- ・ラップの芯を手にして好きなように遊ぶ。
- ・いろいろな素材に触れて音を鳴らしたり、確かめたりして遊ぶ。

○ラップの芯を持ち、園庭で遊ぶ。

- ・シャベルのように砂を掘ったり、筒の中に砂を入れて振る。

子ども：「かき氷の音に聞こえない？」

子ども：「こうすると足音みたいだよ」

- ・パンをこねるような動きをする。

子ども：「小さい音がする」

「聞いた事がある音なんだけど何の音だろう...」

子ども：「小人の音じゃない？」

- ・木や砂場の遊具などいろいろな場所を叩く。

子ども：「何て言っているのでしょうか？」

保育士：「5回だね。何だろう？」

子ども：「チョコバナナでした。もう一回やるよ」

子ども：「草は虫が出てくる音みたい」

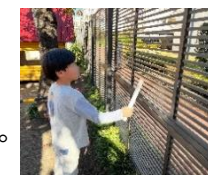
子ども：「動物の足音にも聞こえる」

- ・フェンスは滑らせるようにして音を鳴らす。

子ども：「シャランってきれいな音」

○好きな音をみんなに伝える。

- ・ドラムのようにリズムをとって鳴らす子どもや、好きなように鳴らして楽しむ。



### 5, 振り返り

<振り返りによって得た保育士の気づき>

・砂場の近くで始めた為、砂を掘るなどして遊ぶ。今回は音に意識が向くように言葉を掛けたが、遊びの中で自然と音に繋がっていくのを待っても良かった。砂の小さい音に気付いたり、草を叩いて友達と伝え合ったりしていて、子どもの想像力の豊かさを感じた。物によって鳴らし方を変えていた。ベンチを叩いて何と言ったか当てる遊びをしていて、微妙な音の違いを使った遊び方もできるのだと感じた。今後の活動のヒントにしたい。